

(社) 日本原子力学会
第 88 回倫理委員会議事要旨

日 時 平成 27 年 11 月 4 日 (水) 13:30～17:30
場 所 東京大学工学部 8 号館 510 号室
出席者 大場委員長、三村副委員長、宇奈手幹事、大鷹委員、金山委員、辻委員、出町委員、
中野委員、名倉委員、福家委員、宮越委員、宮澤委員
上坂理事 (13 名：委員名簿順)
北村氏、作田氏、中村氏 (オブザーバー)

配布資料

- 資料 88-1：第 86 回倫理委員会議事要旨 (案)
- 資料 88-2：H27 年度 倫理研究会開催案内、開催テーマについて
- 資料 88-3：2016 年春の年会企画セッション (案)
- 資料 88-6：再稼働に係る審査、承認の事例集
- 資料 88-7：倫理委員会ホームページ更新関連資料
- ※資料 88-4、88-5 は欠番

議事

1. 資料 88-1 により、前回議事要旨 (案) を確認し、一部誤記訂正することで了承された。
2. 資料 88-2 により H27 年度倫理研究会案について説明があった。案では班目元原子力安全委員長らの講演が第 1 部と第 3 部に分かれているなどの理由により再度構成を見直し、後日、御本人との打合せを踏まえて最終化していくこととした。
3. 資料 88-3 により 2016 年春の年会企画セッション案について説明があった。東北電力への講演依頼は北村東北大学名誉教授を介して依頼し了解取得済み。また、企画セッション提案書案については 2 名の講演の狙いが伺える文言を追記し提出期限 (12/2) までに原子力学会事務局に提出することとした。
4. 11 月 2 日に開催された日本工学会技術倫理協議会第 11 回公開シンポジウムについて出席者から報告があった。シンポジウムは 6 件の講演とパネルディスカッションで構成されており、例年と同様の約 75 名の出席があった。講演内容は、技術の発達に伴う倫理の問題 (医療、システムの自動化、インターネット利用によるサイバーセキュリティなど) 多岐に渡っていた。技術倫理協議会に対する今後の当委員会の係わり方については委員長にて検討することとした。
5. 資料 88-6 により原子力安全システム研究所にて現在調査、検討を進めている国内原子力発電所の再稼働に係る審査、承認の事例集 (案) の一部として日本原子力発電敦賀発電所敷地内破砕帯の活動性評価に関する事例紹介があった。この内容を受け、各委員から事象に対する考察、倫理委員会として考えなければならないこと、今後の扱い等について様々な意見が出された。これらの議論も踏まえて各委員は自身の意見を纏め、2 週間を目処にメールで意見交換をし、次回の委員会での議論に資することとした。
6. 資料 88-7-1 により倫理委員会 HP の全体構成見直し案について説明があった。至近に改修すべきは CSR、PDF ダウンロード、技術者倫理を HP から割愛することとした。また、名簿の最新化が必要となり、幹事にて手配することとなった。また、委員長挨拶と規定の改訂の経緯については 11 月末までに委員長にて検討することとなった。

更に、88-7-2によりHPに掲載する“倫理規程とは”の文案について説明があり、原子力技術の特殊性の説明を一部見直すこととなった。

その他のコンテンツについてはHPの構成見直しを含め今後の検討課題とした。

7. 資料88-8により中村氏の倫理委員立候補の願いがあり了承された。次回の理事会にて報告される予定。
8. その他として事例集の作成状況について説明があった。本のサイズは従来のケースブックと同様にB5サイズで80頁程度の物量となる見込みで、本日、製本作業に着手。年度末までには完成させる予定。
9. 次回の倫理委員会は、H28年1月12日とするが、場所については追って連絡することとした。

以上